

## バイオクライマティックデザイン小委員会 第3回 議事録

- 5 A. 日時 2006年8月31日 木曜日 17:50~19:45
- B. 場所 建築会館 304 会議室
- 10 C. 出席者 市村花恵（東京工業大 梅干野研）、角谷亜璃砂（東京工業大 梅干野研）、宿谷昌則（武蔵工業大）、菅原正則（宮城教育大）、鈴木晶子（首都大東京 須永研）、鈴木康司（OM 計画）、須永修通（首都大東京）、高橋達（東海大）、西川竜二（秋田大）、町田康幸（東京工業大 梅干野研）、横田歩（首都大東京 須永研）  
：11名（敬称略、50音順）
- 15 D. 資料 3-0 バイオクライマティックデザイン小委員会 第3回 議事次第  
3-1 バイオクライマティックデザイン小委員会 第2回 議事録案 / 菅原  
3-2 第36回熱シンポジウム 実施資料 / 須永  
3-3 第36回熱シンポジウムの詳細と講演資料集の原稿執筆依頼について / 須永、斉藤  
3-4 建築文化週間2006「建築ウォッチング」東北支部 実施案内（案） / 菅原
- 20 E. 審議事項
- 1) 前回議事録確認  
前回議事録案（資料3-1）は承認された。
- 25 2) 熱シンポの準備状況確認と今後の予定  
須永主査から、標記（資料3-2、3-3）について説明があり、内容が確認された。  
なお、原稿の切りは「10月13日（金）」に変更する。また、資料3-3の2~4ページを、資料3-2の該当部分に差し替える。
- 30 3) 各種案内  
須永主査から、PLEA2006（Geneva）の参加報告があった。  
また、太陽エネルギー学会から8月15日に出版された「太陽エネルギー利用技術」の案内があった
- 35 4) 夏の放射・湿度と体感の話  
宿谷委員から、標記について説明があり、説明の内容を理解するための質疑が大方を占めたが、それ以外に次のような意見交換があった。
- 40 （高橋）経験的に室温が低めで MRT が高い空間は、作用温度その他の条件が等しくてその結果として PMV が等しくても、快適の質が高いということが。  
（宿谷）そういった経験をエクセルギー的に表現できたと考えている。ただしこれは冬の環境のみであり、夏の環境について気温と湿度が高く MRT の低い条件のときの経験は、現時点において充分には表せてはいない。  
（須永）それは 32~33 といったような限定された範囲で成り立つことなのかも知れない。
- 45 （高橋）蒸暑地域で快適にするために除湿が欠かせないとすると、ヒートポンプが不可欠になるが、そうではない方法による可能性はあるか。  
（宿谷）放射環境を整えてあげることで、蒸暑環境をしのげようであることは確認しつつある。  
（須永）マレーシアのジミーディング邸はコンクリート躯体に木造の覆いがありその外側に熱帯雨林が広がる状況のものがあるが、屋外が 32~33 で 70%でも、室内はコンクリートの土間床表面温度が 25~26 で気温が 28 くらいに保たれていた。そこで T シャツと短パンで裸足で生活する
- 50

のが一つの解になりそうだ。

(鈴木(康))最近のエアコンは顕熱の分で冷房効率を稼ぐ傾向にあり、空調空気も高温になってきているようだ。

(高橋)期待の大きくない人だから高温環境でも我慢できるということはないか。

5 (宿谷)現在は熱帯地域でも、冷房設定温度が低温化している。

(西川)説明されたオープンな環境というのは住宅でのリラックスした状態を想定していて、オフィスでの事務作業という状態は想定されていないか。

(宿谷)説明は住宅を想定している。作業効率のような話もうしばらく様子を見たいと考えている。

10 (鈴木(康))名護市庁舎のような公共建築では、パッシブシステムは戸締まりなどの制限があり難しいと思われる。

#### 5)「伊達なサステナブル建築探訪」の紹介

菅原委員から、標記(資料3-4)について説明があった。

15

F. 次回委員会予定

日時: 10月 16日(月) 18:00~20:00

場所: 建築会館会議室

内容: 岩松委員から「夏の放射・湿度と体感の話」(前回の続報)

深澤委員から「生活行動と体感の話(仮)」

20

須永主査から「PLEA2006(Geneva)報告」についての話題提供、

熱シンポジウムの企画など

内容は次のものを順次取り上げる。

25

1. 鈴木(大)委員から北総研建物について

2. 環境設備で入りにくい部分についてのディスカッション(廣谷+鈴木(信)、野沢?)

3. 鈴木委員、武山委員から、OMソーラー協会本社について

4. 長谷川委員から、断熱改修住宅の環境測定

5. 藤江委員から、新しい吹き付け断熱法

以上